

諸 注 意

1 オーダーについて

- (1) ダブルスの順位は、両者のシングルス登録順位の合計が小さい方を上位とし、合計が同数の場合は、登録順位の最上位者の属するペアを上位とします。
- (2) オーダーの提出は以下のとおりです。
 - ① 第1対戦は、「試合進行予定」で指定された時間内とします。
 - ② 第2対戦以降は、対戦両校の試合終了後15分以内とします。

2 試合進行上の注意

- (1) 試合は試合進行予定に基づいて実施します。試合間は20分とします。
試合順は原則として **S1 D1 S2 D2 S3** の順です。同じブロック内で隣接するコートが空いた場合には、3面以上で試合を行うことがあります。また、第1日の予選2位決定戦および第2日の順位トーナメントでは、勝敗決定後のポイントで打ち切ります。
- (2) 試合は1タイプブレークセットマッチとします。ノーレットルールで行います。
- (3) ベンチコーチは各コート1名を認めます。ただし、登録された監督・選手に限ります。
- (4) 対戦前後の挨拶の司会は対戦チームで話し合い、どちらかの選手が行います。オーダー用紙は監督から発表後に交換をしてください。「団体戦に登録された選手は、試合前後の挨拶に整列しなくてはいけない。やむを得ない事情により整列できない場合（欠場）は、本部の承認を受けること」
- (5) 試合前の練習は、試合のできる服装でサービス各サイド2本のみです。
- (6) 第1ゲーム後の休憩を認めます。
- (7) ゲーム中にタオルをコートの後ろへ置くことができます。ただし、サイドラインの延長線上より外側に置いてください。
- (8) ボールの進入による「レット」は双方の選手がコールすることができます。
- (9) 試合が終了したら、選手はロービングアンパイアと両者立ち合いのもとスコアの確認を行ってください。
- (10) B1コートサイドやB61, B62, D21, D24, D27コート内の応援は禁止です。B59～B64間の通路、およびDコート北側のみ応援が認められます。また、D29横の民家への立入禁止を徹底してください。
- (11) 試合球はオーダー提出時に番号の若いチームに渡します。試合終了後、コート付近のカゴに入れてください。
- (12) シングルスに限りボールパーソンを各校1名入れることができます。

3 服装などについて

- (1) 「JTA TENNIS RULE BOOK 2025」、「全国高体連テニス専門部服装規定」に従います。
- (2) 特に注意する点を以下に記します。
 - ①コマーシャルロゴについては、校名・校章のみとします。
 - ②コンプレッションウェアは着用可、ウォームアップジャケットは不可です。ただし、気温の低下により、ウォームアップパンツ（コマーシャルロゴの扱いは同様）の着用を認める場合があります。
 - ③ハチマキの校名・校章は頭部の側面になるようにしてください。

4 その他

- (1) 対戦終了後の挨拶が終わったら、速やかにコートの外に出てください。ミーティング等はコートの外で行ってください。
- (2) コート周り（会場周辺）でのテント等の設置は認めません。
- (3) 部旗・横断幕等をフェンス等に張ることは認めません。また、張らずに手で持っていることも同様の扱いで認めません。
- (4) D19～D29コートには、D本部を設けます。オーダー提出はそちらで行ってください。
- (5) 試合の動画・写真撮影等は相手校の了承を得ることが必要です。
- (6) 試合終了後は、対戦相手と握手することを推奨します。

* 良いマナーで試合が行われ、滞りなく大会が進行し、素晴らしい大会となりますようご協力をお願いします。

関東選抜高校テニス大会登録人数の差異による、勝敗の決定方法

A (登録人数) vs B (登録人数)	勝敗
A (7~9人) vs B (7~9人)	現行通り
A (7~9人) vs B (6人)	S3 は A の不戦勝 (1勝) からスタート
A (7~9人) vs B (4~5人)	S3、D2 は A の不戦勝 (2勝) からスタート
A (6人) vs B (6人)	2勝2敗の場合は、①②の順に高い方の勝ちとする ①取得セット率 ②取得ゲーム率 ①②ともに同じ場合は S1 勝者の勝ちとする
A (6人) vs B (4~5人)	D2 は A の不戦勝 6-0 等 (1勝) からスタート 2勝2敗の場合は、①②の順に高い方の勝ちとする ①取得セット率 ②取得ゲーム率 ①②ともに同じ場合は S1 勝者の勝ちとする
A (4~5人) vs B (4~5人)	2ポイント先取

一方に対戦相手がない場合の不戦勝は 6 - 0 と記載する

なお、団体戦にてリタイアした選手またはペアのいるチームが、同じ日に次の対戦がある場合には、そのリタイアの主因となった選手（シングルスの場合はその選手、ダブルスの場合はリタイアの主因となった選手）は出場できない（次の日は出場できる）。

関東選抜高校テニス大会

セルフジャッジ・マニュアル

プレーヤーが判定とコールをすることをセルフジャッジといい、以下の通り行う。カウントの仕方やアナウンスの方法、その他のルールに関してはルールブックに準じる。

(1) ゲーム・ポイントのアナウンス

毎ポイントで、サーバーがレシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンスする。各ゲームの最初のポイントはゲームカウント（〇〇リーズ 3-0 など）を、それ以外ではポイント（40-15 など）をアナウンスする。レシーバーはこの時点で食い違っていないか確認する。

(2) ① 判定とコール…ボールの着地後、直ちに相手に聞こえる声で行う

コールの種類	判定とコールができる人
「フォールト」「アウト」 「グッド」（「グッド」は発声しない）	ネットから自分側のプレーヤー
「ネット」「スルー」「タッチ」 「ノットアップ」「ファウルショット」	両プレーヤー
「フットフォールト」	レフェリー、ロービングアンパイア

「フォールト」「アウト」…ボールとラインの間に、はっきりと空間が見えたとき

「グッド」…ボールがライン上に接地したとき、ボールとラインの間に空間が見えなかつたとき、
ボールを見失って判定できなかつたとき

※ネットより相手側の判定に対して、確認はできるが、抗議することはできない。

② ハンドシグナル…コールの補助として使い、相手に判定を伝える

「フォールト」「アウト」…人差し指を上に向かって立てる

「グッド」…手のひらを地面に向ける

③ ダブルスの判定とコール

ダブルスの判定とコールは、1人のプレーヤーが行えば成立する。しかし、ペアの両選手の判定が食い違う場合はそのペアの失点となる。しかし、ペアの判定が食い違っていたとしても、「アウト」や「フォールト」を直ちに「グッド」に訂正した場合は、1回目に限り故意ではない妨害としてポイントレットとなる。

④ レット

- 【両プレーヤーともコールすることができる】インプレー中、他コートからボールが入ってくるなどの妨害が起こった場合は「レット」とコールして、そのポイントをやり直す。

- 【落とし物をした相手プレーヤーのみコールすることができる】インプレー中、プレーヤーがラケット以外の着衣・持ち物を相手コート以外の地面に落とした場合、それが1回目のときは、「レット」をコールしてプレーを停止し、そのポイントをやり直す。2回目以降、落とすたびにそのプレーヤーが失点する。

⑤ サービスノーレット

サービスの「レット」をコールしてしまった場合、その時点でそのプレーヤーが失点する。

⑥ オーバールール

コートのそばにいるレフェリーおよびロービングアンパイアが判定に対して明らかに誤っていると判断した場合、オーバールールを行い、判定を覆す可能性がある。ただし、レフェリーおよびロービングアンパイアが起きた事実を見ていた場合に限る。

(3) スコアがわからなくなつたとき

スコアがわからなくなつたときは、双方のプレーヤーが合意できるスコアまでさかのぼり、それ以降のプレーで双方が合意できるポイントを足したスコアから再開する。合意できなかつたポイントは取り消される。ゲームスコアがわからなくなつたときも同様に処理する。再開するときのエンドとサーバーは、合意されたスコアに準ずる。ただし、ゲームスコアが訂正され、再開する場合のサーバーは、次の順のサーバーに交代しなければならない。(同じプレーヤーが2ゲーム連続してサーバーにはなれない)

(4) 試合終了時

両プレーヤー立ち合いのもとロービングアンパイアにスコアを確認してもらう。

(5) レフェリー、ロービングアンパイア（本部の先生）との連携

次の場合は、レフェリーまたはロービングアンパイアに速やかに申し出る。

- ① コートを離れなければならない事情があるとき
- ② 相手プレーヤーの言動やコール、フットフォールトなどに疑問、不服があるとき
- ③ プレーヤー同士で解決できないようなトラブルが起つたとき

(6) その他

「ヒンダランス（妨害）」は、妨害を受けたプレーヤーからの申し出によりレフェリー、ロービングアンパイアが判断する。ただし、妨害を認知しながら意識的にプレーを続行した場合は妨害とみなされない。

【よくある妨害】

- ① インプレー中（ポイントが決する前）に声を出す
- ② レシーバーが1stサービスと2ndサービスの間に声を出す
- ③ グッドであるにも関わらず、アウトと伝わるような声やジェスチャーを出している
- ④ ダブルスで、レシーバーのパートナーが不必要にサービスのコースに侵入する

感染症による登録選手の入れ替えについて

全国選抜高校テニス大会の都道府県内予選・地区大会・全国大会の参加申し込み後に、出場校で新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症法に定める感染症の感染者が出た場合の登録選手の入れ替えに関する規定を下記の通り定めます。

○規定内容

- ・登録選手の中に新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症法に定める感染症の感染者が出た場合、監督会議や専門委員長会議等で承認を受けたうえで、登録選手の入れ替えを認める。入れ替える人数に上限は設けない。
- ・入れ替える場合は、新たに登録する選手を含め実力順に登録すること。
- ・選手が復帰する場合は、登録入れ替えにより追加登録した選手を除外し、実力順に再登録すること。なお、入れ替えた選手が全員復帰した場合は、最初の登録順に戻すこと。

○注意事項

- ・当規定は感染症の拡大状況等に応じて変更・廃止を行う場合がある。

以上

全国選抜高校テニス大会実行委員会 2025年 9月 5日発行